

ベーシック研修

**2019 年度
支援相談員基礎研修
ご案内**

(主催)一般社団法人 愛知県医療ソーシャルワーカー協会
(後援)一般社団法人 愛知県老人保健施設協会

2019年8月吉日

各位

一般社団法人 愛知県医療ソーシャルワーカー協会
会長 小林哲朗
(公印略)

2019年度 支援相談員基礎研修のご案内

一般社団法人 愛知県医療ソーシャルワーカー協会では、一般社団法人 愛知県老人保健施設協会の後援を得て、下記の要項で「支援相談員としての基礎的な援助の視点・技術・実際を学ぶ」とした3回連続講座の研修会を開催いたします。ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

《日時及び内容》

	日時	テーマ	講師
第1回	10月12日(土) 10:00~16:30	支援相談員のポジショニング	片山 徹 氏 (日本福祉大学 健康科学部 リハビリテーション学科 准教授)
第2回	11月30日(土) 13:30~16:30	支援相談員の面接技術	加藤 良子 氏 (大学非常勤講師)
第3回	12月14日(土) 13:30~16:30	支援相談員の援助技術 の実際	介護保険関連研修委員 (愛知県医療ソーシャルワーカー協会)

《対象者》 ① 支援相談員としての従事期間が概ね3年以下の方
② 希望する全てのソーシャルワーカー

《参加定員》 36名(3回連続の参加を基本とします。)

※但し、定員に余裕がある場合にのみ、受講したい回のみでの参加も受付いたします。

《受講費》 3回セット申込み価格となります

【愛知県医療ソーシャルワーカー協会会員の方:全3回合計で7,700円】

(希望回のみの方は、第1回3,300円 第2回2,200円 第3回2,200円)

【愛知県老人保健施設協会会員施設の方:全3回合計で11,000円】

(希望回のみの方は、第1回4,400円 第2回3,300円 第3回3,300円)

【非会員の方:全3回合計で14,300円】

(希望回のみの方は、第1回5,500円 第2回4,400円 第3回4,400円)

《認定医療社会福祉士研修ポイント》

[第1回] 7ポイント(予定) [第2回] 4ポイント(予定) [第3回] 4ポイント(予定)

《申込方法》当協会ホームページよりお申込ください。

申込み受付期間①全3回申込:2019年9月1日(日)~9月28日(土)

②各回申込 :2019年9月14日(土)~9月28日(土)

※定員超過の場合は、3回とも参加できる方を優先いたします。

《会場》 ウィンクあいち 名古屋市中村区名駅4丁目4-38

[第1回] 1108会議室 [第2回] 907会議室 [第3回] 1208会議室

《問い合わせ先》 介護老人保健施設 星ヶ丘アメニティクラブ 石川将弘

TEL:052-701-1222 FAX:052-701-1271

以上

[本研修の目的]

研修受講者が支援相談員として従事するに当たり、必要最低限習得して欲しい基礎知識・技術を提供し、もって日常の相談援助業務に資すること。

[各回のねらいと内容]

第1回 支援相談員のポジショニング ※本講のみ1日研修ですのでご注意ください

○ねらい

相談援助業務を行う前提として、参加者自身が①職場において、あるいは②利用者・家族との援助関係においてどのようなポジショニングで仕事をしているのか、自己覚知してもらうことをねらいとします。

○内容

職場の中、利用者・家族との援助関係の中で、私(支援相談員)は何をする人ですか？対人援助職としての基本的な視点、支援相談員としてのポジショニングを講義&グループワーク形式で学びます。

用語の定義: ポジショニング (positioning) *奥川幸子『未知との遭遇』三輪書店, 1997, pp.102-103

援助専門職がとるべきスタンディングポイント、つまり、どの立場に立って目の前の対象者と対峙するのか、そして、どのように援助していくのか、をみる考え方。

○講師紹介

愛知県厚生連渥美病院医療ソーシャルワーカー、医療法人偕行会老人保健施設支援相談員、介護支援専門員、日本福祉大学高浜専門学校介護福祉学科教員にて勤務後、現在、日本福祉大学健康科学部リハビリテーション学科介護学専攻准教授。

第2回 支援相談員の面接技術

○ねらい

支援相談員基礎研修時に行ったアンケートの分析結果から、「傾聴」「応答」「再陳述」「明確化」の4つの面接技術の満足度が経験年数3年未満と3年以上で差がみられ、3年未満の支援相談員では3年以上の支援相談員に比べて相対的に「できていない」ことが明らかとなりました。これら4つの面接技術のうち、最も基本となる「傾聴」に焦点を当ててその技術を習得することをねらいとします。

○内容

面接技術の基本となる「傾聴」に焦点をあて、講義&グループワーク形式で学びます。

○講師紹介

名古屋第一赤十字病院にて医療ソーシャルワーカーとして25年勤務、現在は、日本福祉大学、金城学院大学、愛知県立大学等で非常勤講師。名古屋市介護保険認定審査会委員、愛知県医療ソーシャルワーカー協会新任者養成委員会委員。社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員。

第3回 支援相談員の援助技術の実際

○ねらい

支援相談員基礎研修時に行ったアンケート結果から、「実際の事例から学びたい」という意見が多く寄せられました。そこで、入所相談(インテーク)から退所までの一連のプロセスを実際の事例を通じて、支援相談員の援助プロセスについて具体的なイメージ、支援方法のポイントを掴み、学ぶことをねらいとします。

○内容

入所は決まったけれど、その後はどのように、どの時期に、利用者・家族への援助を展開していけばいいのか悩んでいる方は少なくないと思います。そこで、支援相談員が実際どのような相談支援を行っているのか事例報告を行います。実際の事例から、ソーシャルワーク実践を学ぶとともに、支援を行うための根拠となるアセスメントの視点、専門職として実践を振り返ることの意味についても考えます。

○委員会紹介

愛知県医療ソーシャルワーカー協会の介護保険関連研修委員会では、当協会における現在の正会員に占める所属施設別の割合は、病院以外では老人保健施設が一番多いこともあり、介護保険関連施設と広範囲を対象領域としていますが、老人保健施設の支援相談員を対象の中心として活動しています。

○事例提供者

介護老人保健施設かりや 小松 ななみ 氏